

令和6年度 浦安市災害医療対策会議 議事要旨

1 開催日時

令和7年3月24日（月） 午後7時00分～午後8時00分

2 開催場所

浦安市健康センター地下1階 第2会議室・地域連携室

3 出席者

[会長]山崎健康こども部長

[副会長]宇田川健康こども部次長

[委員]

上田委員、高須委員、槇坪委員、後藤委員、金子委員、岡本委員、池田委員、竹本委員、天野委員、小林委員、河合委員、小泉委員、河野委員、梅澤委員

[事務局] 健康増進課

加納課長補佐、金子係長、安永、今井、田中

4 傍聴

傍聴者：3名

5 議事

- (1) 新規委員の紹介
- (2) 浦安市災害医療救護対策マニュアルの改訂
- (3) 各団体の取組状況・次年度の予定
- (4) その他

6 議事の概要

- (1) 新規委員の紹介
新規委員の紹介を行った。
- (2) 浦安市災害医療救護対策マニュアルの改訂
浦安市災害医療救護対策マニュアルの改訂案について、説明と意見交換を行った。
- (3) 各団体の取組状況・次年度の予定
各団体の取組状況・次年度の予定について、情報共有した。
- (4) その他
その他連絡事項について、説明を行った。

7 会議経過

(1) 新規委員の紹介

浦安警察署代表者の委員変更について、事務局から説明し、新規委員よりご挨拶をいただいた。

(2) 浦安市災害医療救護対策マニュアルの改訂

浦安市災害医療救護対策マニュアルの改訂案について、事務局から説明した。
委員からの主な意見とそれに対する回答は以下のとおり。

委員：救護所の箇所数が最大8箇所となっているが、医師会や市職員の人員を考慮すると、8箇所の開設は難しいと思われる。近隣市では病院前の6箇所のみ開設することとしている。今後、現実的に運用可能な数に減らすことも検討すべきではないか。

委員：救護所はあくまでも最大で8箇所であり、必ずしもすべて開設するわけではない。実際の災害時には、被害状況や人員体制によって開設場所を決定するものと考えている。どの救護所を優先的に開設するかについては、今後の検討課題であると考えている。

委員：地域防災計画に8箇所と記載があるため、すべて開設されるものと市民が誤解する恐れがある。被災した市民が迷うことのないよう、市の方針を整理すべきである。

会長：救護所の箇所数については、今後の検討課題とさせていただく。今回事務局より説明した改定案については、令和7年度に改定の上、改めて皆様に報告させていただく。

(3) 各団体の取組状況・次年度の予定

市の取組状況として、令和7年3月1日に順天堂大学医学部附属浦安病院で実施した「浦安市医療救護所開設・運営訓練」について、事務局から報告した。また令和7年度の市の取組として、東京ベイ・浦安市川医療センターでの訓練と、浦安市災害医療救護対策マニュアルの改訂を予定していることを、事務局から説明した。

その他、各団体の取組状況・次年度の予定について、情報共有した。

委員からの主な意見とそれに対する回答は以下のとおり。

委員：医師会の会員は全員が市内在住というわけではないため、医師会だけでは災害時の体制等について話がまとまらない。災害時の初動については市のリーダーシップで体制を整備するものと考えているため、災害医療対策会議だけではなく、四師会などによる小規模な意見交換の場を設けてほしい。

委員：3月1日の訓練は市と合同で実施した初めての訓練であり、非常に有意義なものとなった。課題は多くあるが、このような取組みを継続することが大切だと考えている。浦安

市は大規模なテーマパークを抱えており、災害時にはその利用者の受入れも想定されることから、当病院においては災害拠点病院として役割を果たせるよう、引き続き連携を強化していきたい。

委員：各病院においても人員の問題がある。当病院は日中には軽症者と中等症者の対応は可能だが、夜間はより大規模な病院において対応するなど、連携体制をしっかりと構築してほしい。

委員：3月1日の訓練は皆様のご協力により初めて市単独で実施することができた。訓練を繰り返すことにより、実際の災害時での円滑な動きに繋がると考えているため、引き続きご協力をお願いする。いただいたご意見については、今後も検討を重ねて改善していく。

(4) その他

千葉県より事務連絡のあった EMIS 代替サービスの運用について、事務局から報告した。
また、令和7年度は浦安市災害医療対策会議を1回開催予定であることを事務局から説明した。